

■ 花粉症



多田 靖宏医師

「花粉症」とは、アレルギー性鼻炎のうち原因物質（アレルゲン）が植物の花粉の場合に呼ばれます。花粉が空中に舞い、鼻や口などの呼吸器や目に入ることによって、身体が異物として認識して外に排出しようとするので、くしゃみ、鼻みず、涙が出やすくなります。スギの花粉がもっとも広く知られていますが、春のカモガヤや夏から秋のブタクサ、ヒノキなども知られています。

花粉症の主な症状は、くしゃみ、鼻水、鼻づまりですが、目のかゆみや充血、せき、のどの痛み、頭痛を来すこともあります。確定診断は皮膚テストや血液検査でアレルゲンを見きわめます。血液検査の場合は一度に複数のアレルゲンを測定することが可能で、すぐ結果が出る機器も開発され

治療 貼り薬や製剤注射も

ています。

花粉症の治療法は以下の通りです。

①薬物療法…アレルギーを抑える内服薬、点鼻薬、点眼薬などを使って症状を和らげる方法です。近年は貼り薬も登場しました。ドラッグストアで購入できる市販薬も充実してきています。種類によっては眠気を誘発する場合があります注意が必要です。

②免疫療法…スギ花粉の成分を毎日内服して徐々に身体を慣れさせる方法で、体質を変えて根治が望める治療法です。ただし月に1回程度の診察を数年にわたり繰り返すため根気が必要になります。

③生物学的製剤…比較的最近開始された治療法で、製剤を皮下注射してアレルギー反応をブロックする方法です。有効性は高

いですが、一定の間隔で長期間自己注射を行う必要があります。治療費が高額になる場合があります。

④手術療法…鼻粘膜をレーザーで焼く方法が一般的で、局所麻酔での日帰りや短期手術が可能です。施設により対応は異なるので医療機関に直接お問い合わせください。

重症度により必要な治療は変わりますので、花粉症を疑う場合はなるべく早く耳鼻咽喉科専門医を受診することをお勧めいたします。

（県医師会会員、福島市、福島赤十字病院、耳鼻咽喉科主任部長）

＝次回掲載 3月17日

協力・県医師会